



*Beltone*TM

Solus Max
&
Serene - シリーン

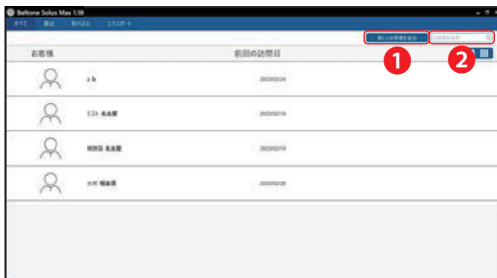
基本操作テクニック&110番

Serene - 110番 ①

A 顧客データの作成をしましょう。

1 Beltone Solus Maxを左ダブルクリック^{☞☞}で開きましょう。

2 顧客画面です。



新規登録 の場合

1. ① **新しいお客様を追加** を左クリック[☞]します。

2. **新規登録** ボタンを左クリック[☞]します。必ず 名・姓 とも入力します。未入力だと保存できません。

さらに詳しい情報の入力は下記をクリックして下さい。

▼ お客様に関する項目をさらに表示

再調整 の場合

1. ② で顧客の検索をします。



姓・名どちらの入力でも検索可能です。



※ 顧客を選択してから **4** へ進みます。

3 **オーディオグラム** 「オーディオグラム」を[☞]左クリックします。

※新規の場合 もしくはオーディオグラムを変更したい場合に使用します。

① グラフ上で左クリック[☞]しながら、左右のオーディオグラムを入力します。(右クリック[☞]は入力取り消し)

② 右下の **保存** ボタンを左クリック[☞]します。
☑ お客様が適切に保存されました と表示され、**フィッティング** がブルーになったら保存完了です。

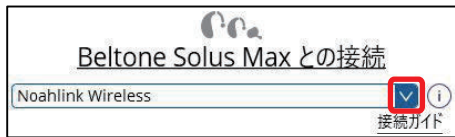
4 画面右下の **フィッティング** ボタンを左クリック[☞]します。


Serene - 110番 ②

B これから Serene の接続を始めましょう。

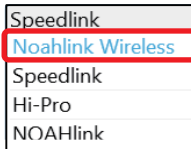
ステップ①

右上の



部分の を左クリック  します。

ステップ②

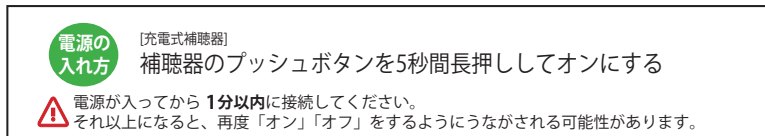


【対応インターフェース】：充電タイプ → Noahlink Wirelessのみ
電池タイプ → 全てOK

プログラミング・インターフェースの中より「Noahlink Wireless」を選択します。
(今までのAirlink2をお使いの方も、「Noahlink Wireless」を選択してください。)

ステップ③

補聴器の電源を入れます。



【確認方法】

LED表示

電源オン:1秒点灯
電源オフ:3回点滅

ステップ④

① 右上の **Beltone Solus Max に接続する** を左クリック  して補聴器を検出します。


※既存の顧客データを使用時、ランチャー画面右上に表示される「SolusMaxに接続する」または「SolusProを起動する」が選択できない場合は画面下の「補聴器の選択を解除」をクリックし、選択している補聴器を解除してください。

② 【RICタイプ】

補聴器の検出時にレーザーを自動的に認識します。
念のため「ピープ音」で確認し、「右（左）を指定」
または「左右へ割当」をクリックすると、左右へ
割り振られます。




※ 補聴器の左右入れ替えが必要になった場合は巻末の対処法をご参照ください。

③ 右下の **続行** を左クリック  します。

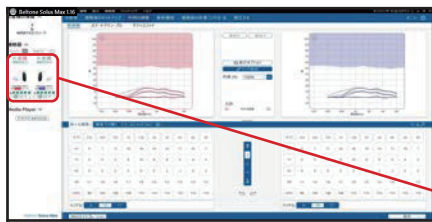
ステップ⑤



続行 を左クリック  します。

※ もしキャリブレーション画面が表示された場合は「続行」をクリックします。

Serene - 110番 ③



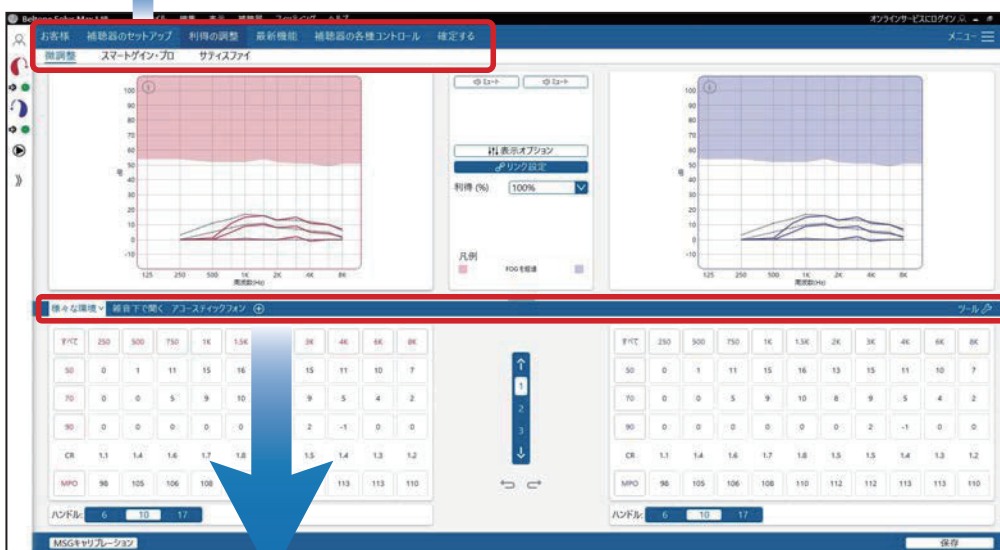
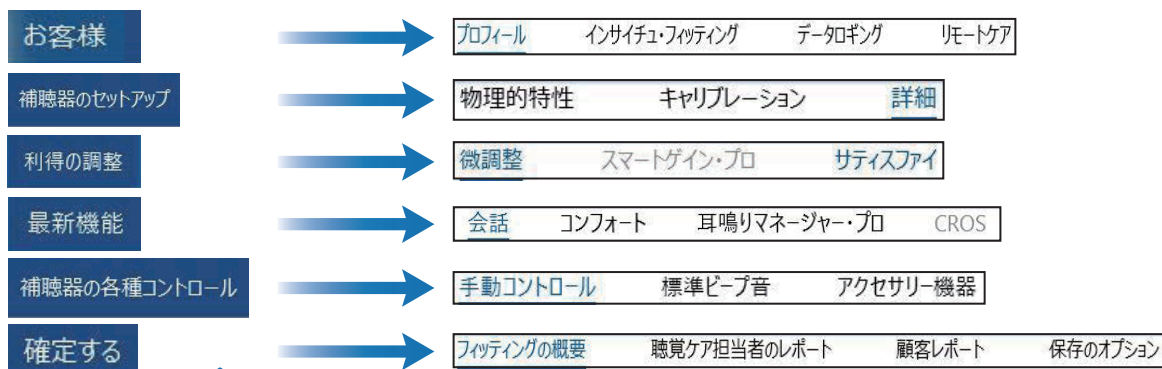
③ この画面になったら、補聴器の接続は完了です。

※ 補聴器の接続時、MR (3 マイク) の補聴器を接続した場合は必ず「ミュート」となります。手動でミュートを外す必要があります。これは変更はできません。既存の顧客の調整等、すでに保存されている補聴器を再度接続した場合、ミュートは解除された状態となります。またフィードバックイレイサー (ハウリング防止機能) を作動させたあとは必ずミュート状態になりますので、解除するようお願いします。

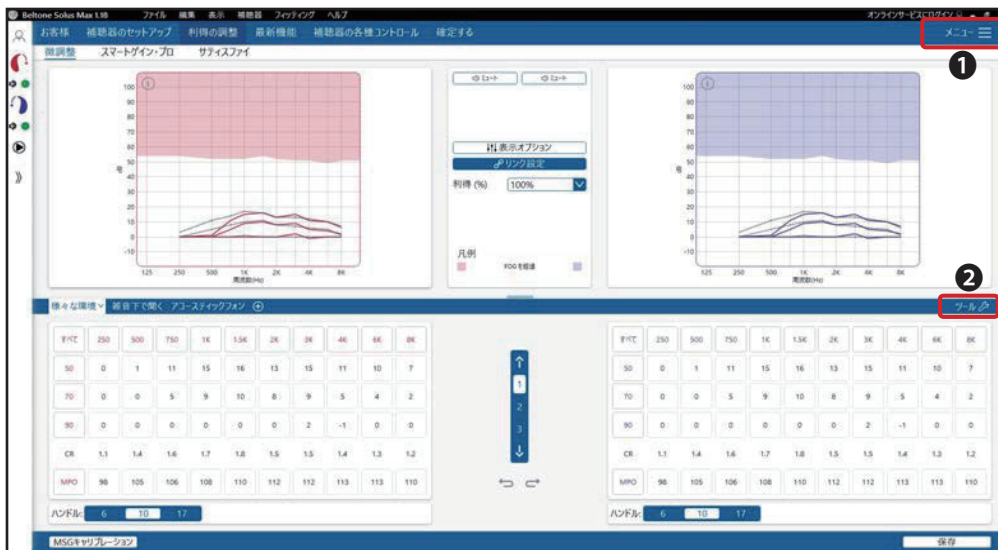


Serene のフィッティングをします。

補聴器接続後、画面左上の目的の項目をクリックし、フィッティングの画面に移ります。



Serene - 110番 ④



ポイント フィットिंगをどのようにすればいいかわからない場合

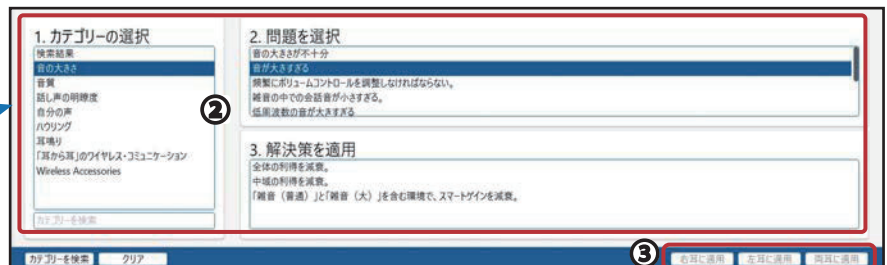
① 右上にある **メニュー** を左クリック してください。内容が提示されます。



① 「**Solus Maxのガイド**」を左クリック してください。

② 開いたウインドウで番号順に必要項目を左クリック してください。

③ 右下のボタンで適用させたい耳を左クリック してください。



※ Solus Proでは、「フィットニングウィザード」の名称になります。

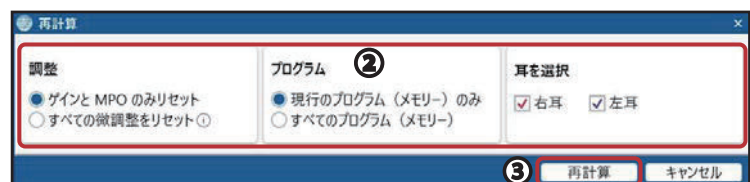
ポイント お客様の聴力にあわせて自動調整を行いたい場合

② 右中段にある **ツール** を左クリック してください。内容が提示されます。

① 「再計算」を左クリック してください。再計算ウインドウが開きます。

② 再計算をする調整・プログラム（メモリー）・適用耳を選択し、左クリック します。

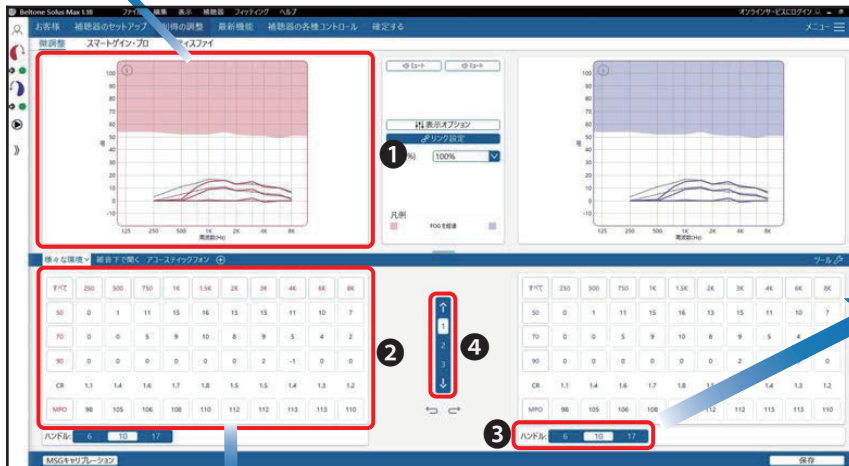
③ 左下の「再計算」ボタンを左クリック してください。



Serene - 110番 ⑤

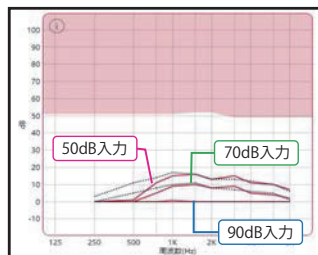
D グラフを見ながら、音量の調整をしていきます。

① グラフ(50dB入力 / 70dB入力 / 90dB入力)



③ 「ハンドル」を変えることで細かく調整できる周波数域を増減できます。
 Serene 17 (6 / 10 / 17)
 Serene 9 (4 / 8 / 14)
 Serene 6 (3 / 6 / 12)
 Serene 4 (3 / 6 / 12)

② 利得 (50dB / 70dB / 90dB) / MPO 音量の増減 (幅)



- すべて >>> 50 / 70 / 90 全体の音量調整をします。
- 50 >>> 小さい声、2～3m以上離れた音
- 70 >>> 普通の声(1m)、1～2mの音
- 90 >>> 大きな音(耳元)、1m以内の音
- MPO >>> 出力制限、周りの音が響かないように出力音の上限を決めます。

入力音 (dB)	周波数 (Hz)						
	すべて	250	500	1K	2K	4K	8K
50	0	1	13	8	6	1	
70	0	0	6	1	1	1	
90	0	0	0	0	0	0	
CR	1.3	1.4	1.6	1.3	1.2	1	
出力音 (dB)	MPO	97	102	104	105	106	107

低音域
中音域
高音域
※ 6ハンドル選択時

④ 利得調整と出力調整をします。まずは音量の増減を行い、その後MPOの増減を行います。

⇒ ① 縦に並んだ数字の1・2・3 (dB)より増減幅を選択し左クリック します。

② キーで入・出力音の増減をします。

これらを、必要な回数分左クリック して下さい。

ポイント

音量は、1m程度で丁度よく、3mだと少し聞きづらい・・・が目安です。
 『うるさくないように』『周りの音が響かないように』を心掛けましょう。
 お客様との会話には『大きい声は使わず、ゆっくり、ハッキリ』を心掛けてください。

E 快適な聞こえのために、補聴器の機能を活用します



ステップ① ① 「最新機能」をクリックし、目的に合わせて下段で「会話」「コンフォート」を選びます。

ステップ② ② の内容から調整したい機能を選び、スライダーにて調整します。


<会話>

- ☆ 耳介の集音に近い自然な指向性！ S/N比向上 ……………「指向性」
- ☆ 非常に困難な聴取環境でも会話をしたい！ ……………「ウルトラフォーカス（2）」
※ Serene・Achieve 17 (MR) / 9 (MR) / Imagine17 (MR)
- ☆ 無指向性処理と指向性処理が混在した周波数の調整
をしたい！ ……………「ミキシングポイント周波数」
- ☆ 圧縮にかかる時間を変更したい！ ……………「圧縮時間」
- ☆ 聞こえづらい高周波の音を、聞こえやすい中周波数に
移行したい！ ……………「サウンドシフター」

<コンフォート>


- ☆ ハウリングの抑制量をお客様のニーズによって
変更したい！ ……………「フィードバックイレーサー2」
※ 詳細は7ページ参照
- ☆ 環境雑音を抑制したい！ ……………「サウンドクリーナー・プロ」
- ☆ 不快な風切り音を減らしたい！ ……………「風切り音の減衰」 ※ 有無はメモリーによる
- ☆ 突発的な衝撃音を防ぎたい！ ……………「インパルスノイズリダクション」
- ☆ 回路ノイズを抑制したい！ ……………「サイレンサー」

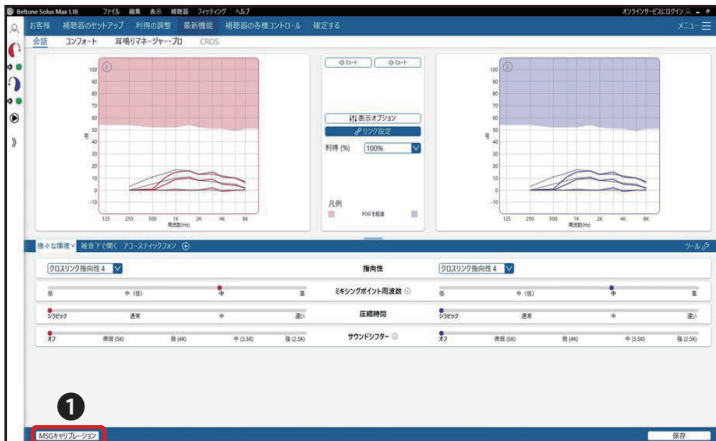
ハウリングの抑制をお客様のニーズによって変更したい!

MSGキャリブレーション を左クリック  し、ハウリング抑制処理を行います。

※ MSGキャリブレーションを行う前にも、一般的なハウリングを抑制するための「セーフガード」があらかじめ働いています。

ステップ①

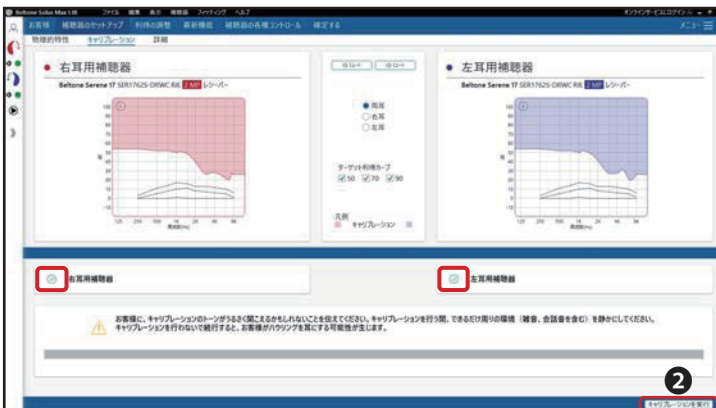
① 左下の **MSGキャリブレーション** を左クリック  します。



ステップ②

② 右下の **キャリブレーションを実行** を左クリック  します。

マークが出たら、MSGキャリブレーションが完了した合図です。



周囲の環境がうるさいと、うまくいかない場合があります。お客様には検査音が鳴っている間は声を出さないように指導し、できるだけ静かな環境（静かな事務所レベル）で実行してください。

※ MR選択時、MMマイクの場合は最後の保存ができませんので必ず行います。

ステップ③

③ 上部の「最新機能」を左クリック  し、「フィードバックイレーサー2」部分にてハウリング抑制機能の強度の変更を行います。



※ グレードによって選択できるポイントが変わります。また、推奨の強さにはグレーの●印がついています。自動調整を行った場合は、推奨値に●印がついています。

F どこにいても一番良い聞こえ、スマートゲイン

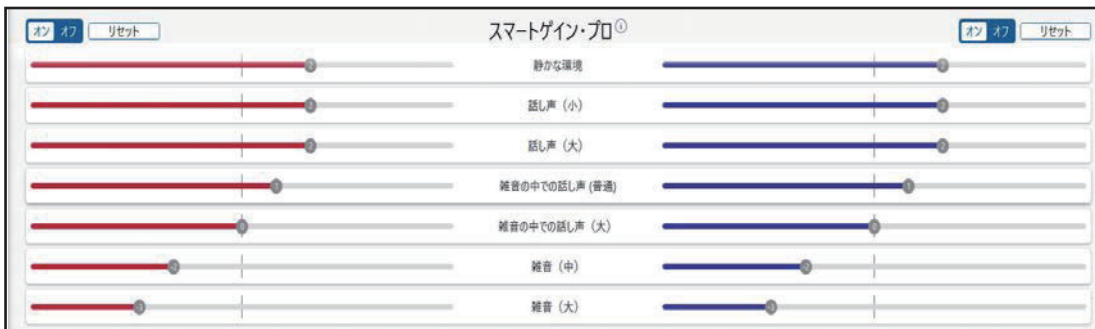
お客様がどのような音声環境にいるのかを7つに区分し、その環境に適した音量に自動調整します。

さらにスマートゲイン・プロは、7つの環境ごとに適した雑音抑制を自動選択します。




ステップ① ①「スマートゲイン・プロ」を左クリック  します。

ステップ② 初めて補聴器を使用される方は、初期の状態をおすすめします。



補聴器を既にお使いの方は、必要に応じてデータロギングのデータを参考にしながら ②にて調整して下さい。

ポイント データロギングを確認したい場合

「お客様」→「データロギング」の順に左クリック  し、画面を開きます。



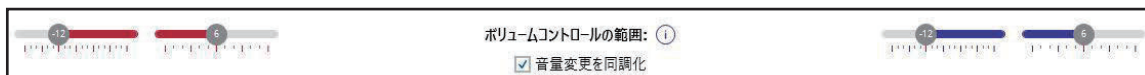
G 電池容量低下のお知らせ音などを、お客様に確認して頂きます。



補聴器の各種コントロールを使ってみます。

ステップ① フィッティングメニューの中の①「補聴器の各種コントロール」を左クリック🖱️します。

ステップ② ②の中にある「ボリュームコントロール範囲」で補聴器とリモコンのボリューム調整時の可変幅が設定できます。



ボリューム範囲の設定のみ、 音量変更を同調化 にチェックが入っていれば片方の補聴器で調整した音量に反対側も自動で調整されます。

ステップ③ ③の中にある「ボタンのオプション」で補聴器のプッシュボタンのカスタマイズをすることができます。(補聴器のボタンを1秒未満押した場合と、1秒以上長押しした場合で別の機能を使うことができます。)

▶▶▶ なし / 音量を上げる / 音量を下げる / メモリーの変更 / ワイヤレスストリーミングの起動 / 最小音量 / ミュート / ミュート解除 より選択可能

※ 初期設定のままでも良い場合は、変更の必要はありません。

※ 初期設定 (両耳装用の場合)

右補聴器：短押し⇒音量を上げる
長押し⇒メモリーの変更

左補聴器：短押し⇒音量を下げる
長押し⇒ワイヤレスストリーミングの起動

片耳の時：短押し⇒メモリーの変更
長押し⇒ワイヤレスストリーミングの起動




ボタンのオプション		
音量を上げる	ボタンを押す (1秒未満)	音量を下げる
メモリーの変更	ボタンを押す (1秒以上)	ワイヤレスストリーミングの起動

補聴器のプッシュボタンをカスタマイズし、複数のアクションに対応できるようにしてください。設定をテストするには、保存してから補聴器の接続を切る必要があります。

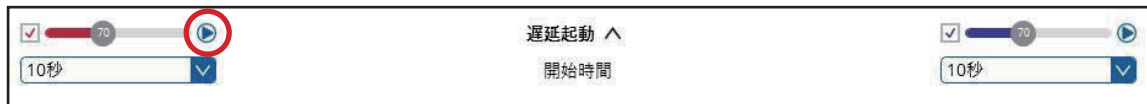
設定できたら、④の「標準ビープ音」タブを左クリック🖱️します。

Serene - 110番 ⑩

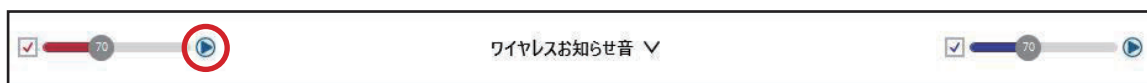
ステップ④ 「電池残量低下の警告音量」横の  を左クリックし、電池交換時のお知らせ音をお客様に確認して頂きます。また必要に応じてスライダーで音量を変更します。



ステップ⑤ 「標準ビープ音」の中にある「遅延起動」で遅延起動の音をお客様に確認して頂きます。
※遅延起動とは、補聴器の電源が入った後、補聴器から音がでるまでの時間のことです。
初期設定は10秒ですが、5秒にも変更可能です。また、チェックを外すと「オフ」に出来ます。



ステップ⑥ ワイヤレス機器を使用している場合には、「標準ビープ音」の中にある「ワイヤレスお知らせ音」にて音の確認や音量の調整が可能です。



H 最後に、補聴器とデータを保存します。




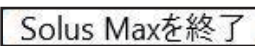

ステップ① ① 「確定する」→「保存のオプション」を左クリック  します。

ステップ② ② より「データベースと補聴器」が選択されていることを確認します。
※必要に応じて「補聴器のみ」「データベースのみ」もお選び頂けます。

ステップ③ ③  を左クリック  します。

ステップ④ 右の画面になれば、保存が完了です。

ステップ⑤ フィッティングを続ける場合：

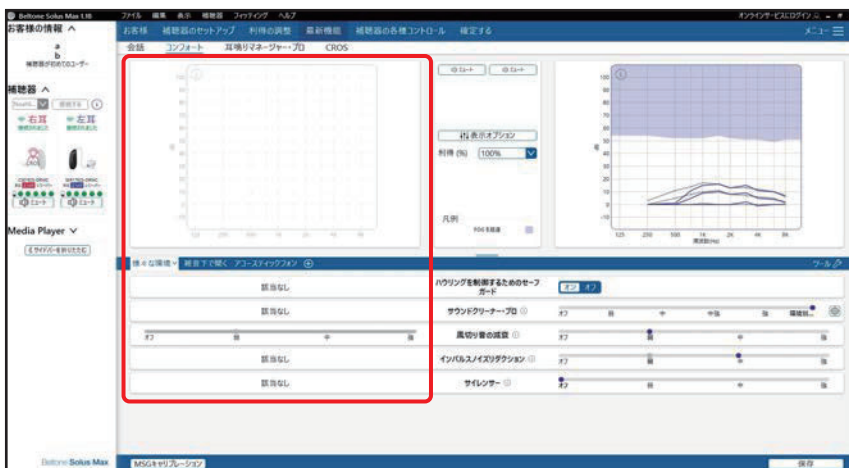
SolusMaxを終了する場合： を左クリック  します。



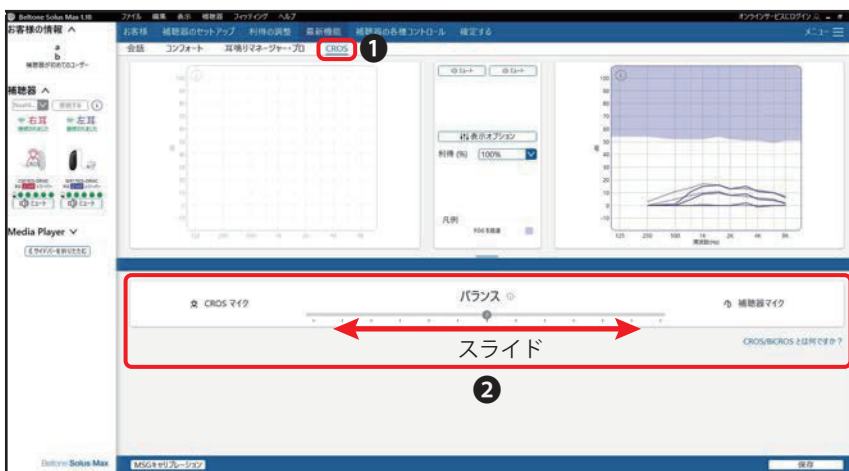
I クロス送信機を使用する場合

片耳がほぼ聞こえない聴力をされているとき、そちら側の音が聞こえなくなってしまうため「CROS送信機」を使用し、聞こえない側の音を聞こえる耳に届ける事が可能です。形状はまったく補聴器と変わりませんが出力音は聞こえません。

クロス送信機使用可能器種は現在のところSereneのみです。



左図は右にクロス送信機、左に補聴器を装着していただく形になっています。接続は通常通り補聴器の接続方法と変わりません。

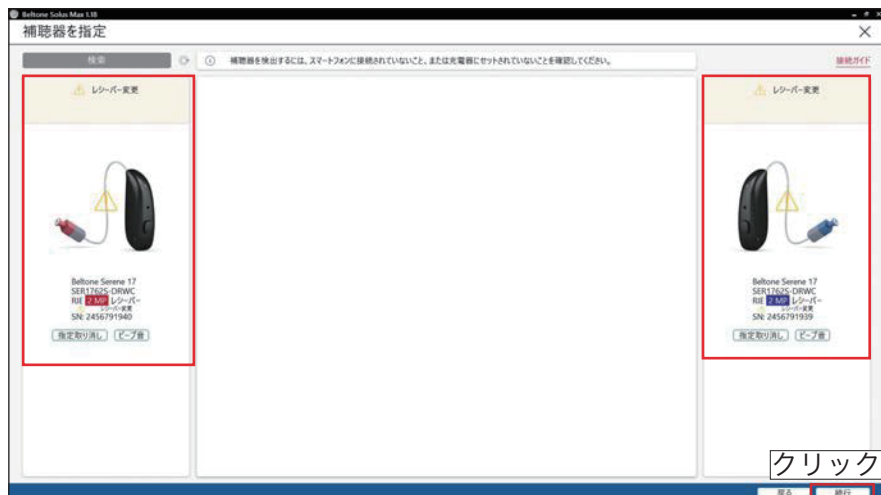


「CROS」をクリックしていただくとクロス送信機と補聴器のマイクバランスの変更ができます。聞こえ方のバランスを取るために使用します。



クロス送信機側のメモリーボタンの音量関係はクロスマイクの音量のみ調整ができます。そのほかは通常の補聴器側と同じ操作内容となります。図の状態が初期設定となります。

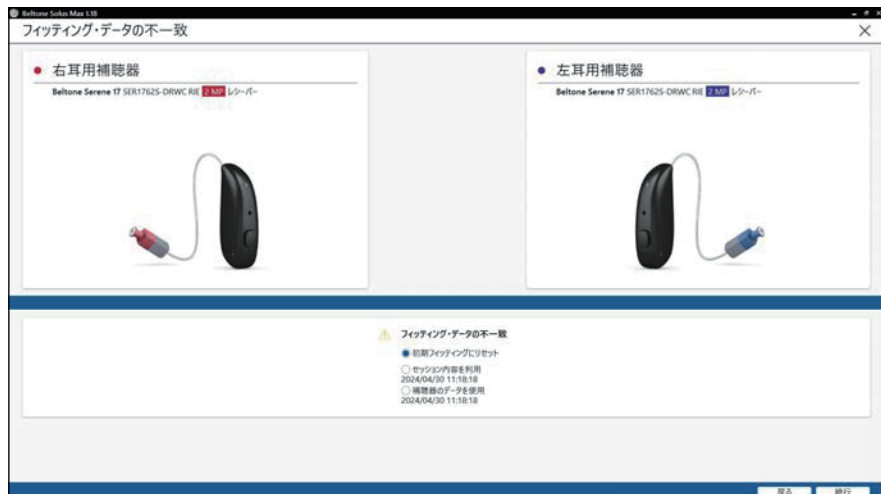
<付録> Serene / Achieve / Imagine RICでレシーバーの左右入れ替えが必要になった場合



Imagine以降のRICは、ソフト接続時に接続されたレシーバーを自動的に認識します。例えば、試聴していた補聴器を別の方に貸し出すときなど、レシーバーの左右を交換する必要がある場合、レシーバーを左右交換した状態で補聴器を接続すると、⚠️がついた注意喚起のメッセージが3か所に表示されます。このメッセージは左右が違う場合のみ表示、長さや強さの変更では表示されません。このまま続ける場合は「続行」ボタンをクリックします。



誤装着防止確認と安全確認のため、再度注意喚起メッセージが表示されます。「続行」をクリックして、左右変更の確定をします。



補聴器の左右入れ替えが完了しました。このあとは通常通り補聴器のフィットリングを行ってください。